

「小論文」

(90分)

(注意：解答はすべて解答用紙に記入すること。)

次の【文章】は、遠藤周作『勇氣ある言葉』（集英社、1978年）に収録されている「錦の御旗」である（同書151頁～153頁）。

これを読んで、後記【設問1】及び【設問2】に答えなさい。

【文章】

錦の御旗

錦の御旗といえば、長い間つづいた徳川政権を倒すべく、江戸に向かった官軍の旗を思い出す。官軍の旗は大義名分の旗であるから誰も文句は言えない。幕府側はたちまちにして正に対する悪となり、朝廷に刃むかう賊となった。だがこの錦の御旗の名のもとに官軍もあちこちで、かなりひどいことをやったのは歴史の本を読むとわかる。

錦の御旗はあまり好きでない。それは錦の御旗自体のためではなく、その旗によりかかった人間がどうしても思いあがるからである。会津を征伐した官軍の兵士のなかには自分たちに逆らうものは錦の御旗に逆らうものだと考えて、罪なき子女をもひどい目にあわせたものもいた。

旧軍隊の内務班では「上官の命令は朕の命令と心得よ」という錦の御旗を利用して、古参兵が新兵をイジめた。錦の御旗がある時は必ずといっていいほど、人と人との思いやりがなくなる。相手を理解しようとする努力がなくなる。相手にたいする想像力が欠如する。当人を思いあがらせるのである。

戦争中は戦争遂行ということが錦の御旗だった。そしてその戦争遂行に少しでも違反しているとたちまち非国民と罵られた。電車のなかで英語の勉強をしている学生を、前の客が非国民と言った風景も見られた。これほど他人にたいする思いあがりはないであろう。

だが民主的になったといわれる今日でも錦の御旗で他人を責めたてる人がいる。今日の錦の御旗は言うまでもなく「民主主義」である。あるいは「反戦主義」である。あるいは「庶民のために」である。あるいは「差別改善」である。

それらの主義はすべて正しい。しかしそれらの主義を錦の御旗にして、自分の気にくわぬものをただちに反動と罵り、ただちに時代逆行とつるしあげる時、錦の御旗の弊害は生まれてくるのだ。

朝のテレビをひねって見たまえ。女房を叩いて彼女を家出させた夫をスタジオに連れてきて、3人の司会者やタレントがつるしあげている。女房を叩くとは何ごとだと責めたてている。彼等の言い分はおそらく正しいであろう。しかし万座のなかで1人の夫を責めたてる彼等の心理は醜悪である。思いあがっている。もし本当にその女房やその子に同情したとしても、このような一般公開の屈辱を他人に与える権利が誰にあるだろう。「暴力反対」という錦の御旗はこうしてそれによりかかる者に時として相手にたいする想像力を失わせ、思いやりを失わせる時もあるのだ。

錦の御旗は人間を多くの場合、独善的にする。もしくは偽善的にする。我々は時と

して錦の御旗によりかかった自分の甘ったれた心理に痛撃を加えねばならぬ。

※出題に当たって、縦書きの原文を横書きに変更し、漢数字を算用数字に置換した。

【設問 1】 筆者が「錦の御旗」を「あまり好きでない」という理由を解答用紙 10 行程度で説明しなさい。

【設問 2】 各自の【設問 1】の解答（筆者が「錦の御旗」を「あまり好きでない」という理由）を踏まえ、2015年を生きる「我々」が「痛撃を加えねばならぬ」と考えられる「錦の御旗の弊害」について、具体的な例を挙げつつ説明しなさい。

入試日程 B日程 出題科目名 小論文 _____

出題趣旨

「錦の御旗」に関する文章を素材として、(1) 筆者の主張をまとめてもらうとともに、(設問 1)、(2) 各自のまとめた (1) の筆者の主張を踏まえて、自らの主張を論じてもらうことにより (設問 2)、①相手方の主張を的確に把握する能力と、②相手方の主張を踏まえて、自己の主張を説得的に表現する能力を測ることを意図した出題である。

主として、(1) では、筆者の主張を正確・簡潔に要約することが求められており、(2) では、自身の設問 1 の解答を踏まえて論を進めること、自身の主張をわかりやすく述べること、適切な具体例を示すこと、主張の根拠を適切に提示することが求められている。